

ビジネス拠点に再エネ電力を融通したりする。
南海トラフ地震の発生に備えつつ、電力消費の効率化による脱炭素社会の実現に貢献する。

南紀白浜空港の 脱炭素化へ連携

オリコンサルら

オリエンタルコンサルタンツら3社は、南紀白浜空港（和歌山県白浜町）の脱炭素化を目的に包括連携協定を締結した。廃棄物の排出量をなくす「ゼロ・エミッション空港」の実現を目指し再生可能エネルギーの活用を検討。脱炭素社会へ貢献と災害時に強いレジリエンスな空港を実現する。

協定は、オリコンサルと同空港を運営する南紀白浜エアポート（白浜町、岡田信一郎社長）、JAG国際エナジー（東京都千代田区、坂根多加弘社長）が結んだ。空港敷地内に太陽光発電を設置したり、2022年6月の開業を予定する空港ビ